

平成25年度第6回鹿島区地域協議会 会議録

<地域協議会の日時・場所>

- 1 日時 平成25年8月8日(木)
開始 13:30
終了 16:30
- 2 場所 鹿島区役所 大会議室

1 開会

■事務局

地域協議会成立要件の確認

委員数15名

【出席委員名】11名

澤田一夫、五賀和雄、折笠寛昭、鈴木直門、松野豊喜、荒邦夫、郡俊彦
鈴木貞正、早川孝雄、前田典郎、立谷ちず子

【欠席委員名】4名

和泉ひで子、西 道典、西 文子、大塚悦子

委員の過半数が出席していることにより、本会議が成立していることを確認。

2. 会長あいさつ

3. 区役所長あいさつ

4. 議事録署名人の指名

—澤田会長が、議事録署名人に松野豊喜委員と鈴木直門委員を指名する。—

5. 議事

(1) 報告事項

①鹿島区の屋内運動場整備について

■事務局

7月12日に市のスポーツ推進審議会において、体育館を所管する文化スポーツ課で鹿島体育館整備事業に関して諮問を行った。諮問内容、結果は以下、資料のとおり。鹿島体育館整備事業は妥当であるとの答申があった。

○荒委員

高齢者が増えているのでバレーボールやバドミントンだけでなく、幅広い種目に対応

できるよう、もう少しユニークな施設を考えていただきたい。

また、郡山市に幼稚園児等が遊べる施設が作られたと聞いた。同じように鹿島区にあっても良いのではないか。

■区役所長

広く市民の皆さんが利用できるような機能を尊重しながら、今後、設計を組んでいく中で検討していく。旧体育館の利用において、幼稚園、保育園の運動会の雨天時に利用した経過がある。老人会の各種行事にも活用されていたことから、そういった用途としても地域的に体育施設が必要だろうと考えている。

○早川委員

旧鹿島体育館は不適格建築物であった部分について、そして子ども及び子育て世帯を中心とした住民の運動不足が問題ということについて審議会でのどのような議論がされたか。

■区役所長

審議会の内容については所管する文化スポーツ課に確認をとらないと不明であるが、昨日の議会での答弁と重複するので経過を説明したい。

まず不適格建築物で制限されるものは、その敷地の場所と構造、広さである。

制限されるものを踏まえて、その中に今、必要な機能を加えていくような設計にしたという答弁をしている。

基本的にこの交付金のねらいは、震災後の子供たちに屋内で自由に遊べる環境の確保が必要だということで、この整備事業を立ち上げているので、そういった機能は当然盛り込んでいきたいと考えている。

○郡委員

冷暖房の設備について議会で議論があったと聞いたが、どのように考えているか。

■区役所長

対象を広げて、子どもから高齢者まで多目的に利用するために冷暖房の施設も実施設計を組んでいく中で検討していきたいと考えている。

○前田委員

音響設備が充実していないと、イベントも来ない。

■区役所長

一般的な音響の設備は必要だと認識しているが、鹿島区には「さくらホール」という設備の整った施設があるので、役割を決めた利用になる。

(2) 協議事項

1) 鹿島区の地域ビジョンの策定について

■事務局

以前からお話していたとおり、今回、市の総合計画の見直しの関係で、コンサル

タントに委託し、地域協議会のビジョン策定にも議論の中に入ってアドバイスをいただくこととなった株式会社サーベイリサーチセンター（SRC）を紹介する。SRC から会社の概要、請け負っている業務について若干ご説明をいただく。

○岩崎さん（SRC）

－説明－

○荒委員

スケジュールについて、10月策定は可能かどうか。

○岩崎さん（SRC）

この時期までに決めたいという形で意向は聞いている。もっと議論をしたい、時間をかけたいということであれば、それに合わせることも可能であるが、今は10月という期間を条件として設定している。

既に地域の方からの声は集めているということなので、それに対する肉付け等、意見をいただきながら我々のほうでそれを具体的にしていく形で進めたい。

○郡委員

区長会等でも意見をまとめているが、初めてということもあり、行政区によって受けとめ方の温度差もあって、必ずしもすべからく提出されているわけではない。

後から重要な提起があった場合には、それも反映させていく必要があるので、ビジョン修正案②の審議までに1回程度キャッチボールを追加できないか。

■地域振興課長

SRCと協議した上で作成してきたスケジュールで、これで固まったわけではないが、市の総合計画に反映するためには、できれば10月下旬には完成したほうが良い。

○郡委員

できれば、とりまとめたものを住民に投げ返して、意見を聞きながら最終的に地域協議会のまとめとするために、10月下旬に予定しているスケジュールを9月下旬、10月上旬に引き上げて時間的余裕を持ち、必要に応じてさらに日程をとるほうが良い。

○荒委員

進め方についてアドバイスいただきたい。

○岩崎さん（SRC）

住民意向として必ずしも全部吸い上げたわけではなく、住民に見せてみるところではなくて、こういう事もあったはずだという声に対応するために、パブリックコメントのような形である程度できたところで、各地域に持ち帰ったり、あるいは、公開してご意見をいただくという方法で最終的な確認をするやり方がある。

時間をみながら、内容的にも充実したものにするために、もうワンステップ欲しい。

■区役所長

手順が重要。まず第一歩としてスタートし、その中で課題が出たり、もう少し練り直す部分が出る中で熟度を高めるために必要な期間がある。最終目標をどこに置くか皆さ

んの中で決めていただく必要がある。

ただ、復興計画の実施計画はスタートしているので、長期総合計画の部分とすり合わせる部分もあるので26年度の当初事業に盛り込む場合、期限がある。

緊急的な対応については、しっかりとその時期に合わせて整理していくことはお願いしたい。

目安として今回提示した、最終的にこのビジョンをしっかりとしたものにするという意味での日程の変更については、私どもも対応したい。

○郡委員

これまでは、今年度内に総合計画の見直しを進めるという話を受けていたが、1年遅れるスケジュールになっているのか。

■区役所長

現行ではそのようになっている。復興計画の実施計画もずれ込んでおり、それを無視した計画はできないためである。

○前田委員

これまで集めた資料を基に、松山ビジョンのようにたたき台となるものを作成してもらえないか。

○岩崎さん

お話を聞いた上で、次回までにその作業をしてくる。

○郡委員

提出のあったスローガンと項目について、お互いに意見を出し合って、皆さんがどういうふうに考えているかを出し合わないと、たたき台を作れと言われてもなかなか難しい。

○折笠委員

SRC で、これまで南相馬市の健康福祉総合計画、災害調査、各種社会調査を通して得た調査資料から、市民がどういったことを望んでいるかということをもとめていただいて、それを我々に提案いただき、意見を出し合うという方法が良い。

○鈴木(直)委員

スローガンをまず、皆さんの意見を統一して決めることが1番先。今日決める。

各地区からあがっている課題を SRC にある程度まとめていただき、それをたたき台としたほうが良い。

○前田委員

委員の一部しか提出しない中で、スローガンを話し合っただけでは難しい。

事務局と SRC にて、これ以外に優れた案があれば構わないので、スローガンの決定を事務局に一任した方が良い。

○五賀委員

スローガンとその下に来る項目との整合性が大事ではないか。

項目を絞っていくことによって、スローガンもある程度煮詰まってくるだろう。

○澤田会長

スローガン未提出の皆さんの提出をお願いしたい。

■事務局

8月13日(火)までにいただきたい。

6. その他

①意見書について

○澤田会長

除染について意見書を提出した。文書での回答は手元に届いていないが、2～3の行政区単位で仮置き場が決まれば、その手法も考慮するという回答をいただいた。

②南右田の一本松について

■産業建設課長

—説明—

○早川委員

一本松の近くに松を守っている旨の立て看板を設置しても問題はないか。

■産業建設課長

土地は南右田総持ちになっているので、南右田行政区長の権限で判断していただいて良い。

○五賀委員

一本松は、西側に枝が出て根も西側の道路の方にある。

ダンプが迂回していない状況。根が傷む心配がある。松を避けて通ってもらえるようにできないものか。残土を運搬している業者にもお願いをしたいと思うが、道幅を広げてほしい。

■産業建設課長

ダンプは県道を迂回して通っているが、さらに業者に対応してもらうようにしたい。

③地域協議会だよりについて

○澤田会長

いつまでに仕上げなければならないか。

■事務局

8月26日の週には印刷に入る。

④視察研修について

■事務局

視察研修の行き先と日程について、候補地として岩手県、秋田県を予定している。
10月下旬から11月上旬までの間で日程を調整し、研修先を検討したい。

⑤次回地域協議会日程について

次回の地域協議会は8月30日(金)に開催。

7. 閉 会

以上のとおり、相違ありません。

会 長 澤田 一夫

会議録署名人 松野 豊喜

会議録署名人 鈴木 直門